

# 埋文やまがた



1997年9月1日  
第8号



舟形町あゆっこ村の土偶モニュメント

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURE ARCHAEOLOGY CENTER

〒999-31 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 0236-72-5301(代) FAX 0236-72-5586

美の原点  
縄文美人のすがた



舟形町西ノ前遺跡出土土偶  
高さ四五センチ



平成9年度特別企画展

山形県立博物館で～日本最大の土偶～「西ノ前遺跡の女神たち」展が開催されます。

普段はお目にかかるないオリジナルの土偶ほか、県指定文化財をご覧いただけます。

●会期：平成9年9月18日(木)  
～10月19日(日)

●会場：山形県立博物館  
山形市霞町1番8号  
☎ 0236-45-1111

## 県指定有形文化財

舟形町西ノ前遺跡で出土した土偶48点は平成8年7月23日山形県指定有形文化財として指定されました。

西ノ前遺跡は一般国道13号尾花沢新庄道路改築工事にともない平成4年6月から10月にかけて山形県教育委員会により発掘調査がおこなわれました。



▲割れた土偶を接合して修復しました。充填したエポキシ樹脂をグライダーで整形しています。

▼左ページの高さ45センチある日本最大土偶をはじめに、48点の内主な土偶を紹介します。



脇部



右脚部

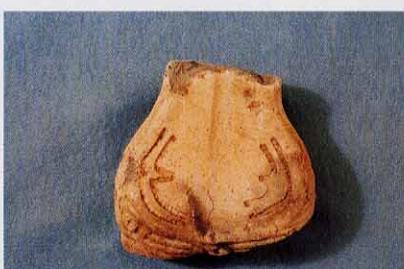
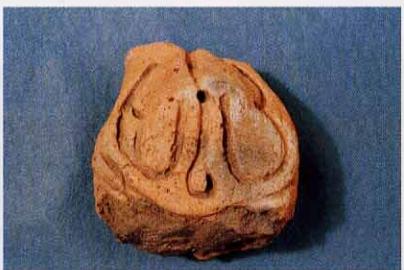


左脚部と腰部

▲平成4年8月4日から6日にかけて、土偶は沢状の落ち込みからたくさんの土器とともに割れた状態で見つかりました。



▲接合前の状態です。五つに割れていることがよくわかります。足底には径5センチ、深さ3.5センチのくぼみがみられます。





「若あゆと古代ロマンの里」として知られる最上郡舟形町に「あゆっこ村」があります。ここに町在住の佐藤充夫さんより寄贈された「土偶モニュメント」が縄文の丘に立っています。今年の5月にできあがったもので、高さは1.7メートルあります。②

## 土偶から 新たな文化の創造

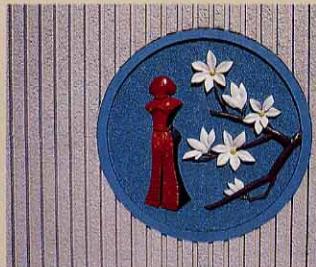


舟形町にはあゆっこ村のモニュメントを始め土偶に関する像やレリーフが要所に生かされています。町を歩いて、いくつ見つけられるかな？

- ① 西ノ前遺跡
- ② 若あゆ温泉あゆっこ村  
TEL 0233-32-3655
- ③ あゆっこふれあい橋
- ④ 舟形町役場
- ⑤ 舟形郵便局
- ⑥ 歴史民俗資料館



猿羽根山公園にある「歴史民俗資料館」には、いつでも土偶のレプリカが展示されています。現在西ノ前遺跡の写真展が開かれています。⑥



舟形町郵便局の壁面レリーフです。土偶と町の花の「こぶし」がモチーフになっています。この両側にも若あゆとこぶしのレリーフがあります。⑤



若あゆ温泉の入口にある石像のモニュメントです。高さは1.5メートルあります。露天風呂の庭にもう一体あります。②



舟形町役場の正面玄関にある石像のモニュメントです。町政施行40周年を記念して平成6年10月に町在住の曾根田順一さんより寄贈されたものです。高さは2.5メートルあります。④



小国川そばのチャイルドランドにかかる「あゆっこふれあい橋」の親柱に金色に輝くモニュメントが対であります。

③

あゆっこ村土偶モニュメント碑文より

縄文びとは  
太陽の位置と 月の満ち欠け 風 雲の流れに  
季節の移ろいを肌で感じ  
山川草木と話をする術を知っている  
花が咲き チョウチョが乱舞する春  
山ブドウ トチクリなどの果実が豊富な秋  
川にサケマスが戻り 白鳥が飛来する頃  
寒く心にぬくもりのある  
風雪の冬がやってくることも知っている  
ひとつは囲炉裏火を囲み肩を寄せあい  
家族や遠い遠い友人の話を  
繰り返し繰り返し語りながら  
きっと来る春に希望を抱き  
輪廻転生の世界に生きつづける

佐々木洋治



## 平成9年度の事業概要

### 1. 埋蔵文化財の発掘調査事業

発掘調査は建設省・日本道路公団・山形県から委託を受け、ダム建設や高速道路・一般道などの建設整備に先だって実施します。

今年度は16遺跡、面積にして133,200平方mの調査が予定されています。

市町村	遺跡名	時代区分	種 別	調査面積 : 平方m	開始	終了
1 朝日町	昭和新田遺跡	縄紋・中世	集落跡	7,800	5/ 7 ~	7/18
2 八幡町	堂の前遺跡	平安時代	官衙跡	1,200	9/29 ~	10/31
3 遊佐町	北目長田遺跡	々	集落跡	3,300	5/ 6 ~	11/20
4 々	上高田遺跡	平安～中世	々	2,700	5/ 6 ~	7/30
5 村山市	宮の前遺跡	縄紋時代	々	750	7/14 ~	10/19
6 朝日町	八ツ目久保遺跡	々	々	3,000	7/28 ~	10/ 9
7 山形市	漆山長表遺跡	平安～中世	々	2,800	5/ 7 ~	6/26
8 南陽市	植木場一遺跡	縄紋～近世	集落・城館	1,500	5/ 7 ~	7/10
9 寒河江市	高瀬山遺跡 (ハイエーオアシス)	縄紋～平安時代	集落跡	30,000	4/21 ~	11/28
10 東根市	小田島城跡	平安・中世	々	2,550	7/22 ~	11/11
11 小国町	野向遺跡	縄紋時代	々	7,900	5/19 ~	8/ 1
12 々	市野々向原遺跡	縄紋時代	々	8,100	7/28 ~	10/15
13 々	千野遺跡	縄紋時代	々	1,600	10/13 ~	11/14
14 寒河江市	高瀬山遺跡 (1期)	旧石器～平安時代	々	4,000	4/21 ~	8/13
15 々	高瀬山遺跡 (サービスエリア)	縄紋～平安時代	城館跡	26,000	5/ 7 ~	11/26
16 天童市	東北中央自動車道建設関係遺跡予備調査	縄紋～近世		30,000	8/18 ~	11/28



高瀬山遺跡 (HO区) 井戸跡実測状況



## 2. 整理・報告書作成事業

発掘調査の成果を報告書にまとめ、保存と活用及び保護思想の普及に役立てます。

整理・報告書作成作業は4月から来年3月までかけておこなわれます。

市町村	遺跡名	時代区分	種別	事業内容	報告書 刊行年度
1 寒河江市	落衣長者屋敷遺跡	平安・中世	集落跡	報告書作成・印刷	9年度
2 タ	平野山古窯跡群12地点遺跡	平安時代	窯跡	タ	タ
3 タ	富山遺跡	旧石器時代	生産跡	報告書印刷	タ
4 タ	高松II遺跡	平安・中世	集落跡	報告書作成・印刷	タ
5 タ	高松III遺跡	平安時代	タ	タ	タ
6 西川町	山居遺跡	縄紋時代	タ	タ	タ
7 鶴岡市	塔の腰遺跡	平安・中世	タ	報告書印刷	タ
8 タ	後田遺跡	平安時代	タ	タ	タ
9 タ	大道下遺跡	平安・中世	タ	タ	タ
10 寒河江市	三条遺跡	縄紋～中世	城館跡	整理作業	10年度
11 タ	木ノ沢橋跡	平安・中世	タ	報告書作成	タ
12 西川町	睦合館跡	中世	タ	整理作業	タ
13 寒河江市	高瀬山遺跡（2期）	縄紋～中世	集落跡	タ	11年度

## 3. 研究・普及事業

埋蔵文化財保護に関する研究と、保護思想の普及を目的とした活動をおこなっています。

### ■調査説明会

発掘調査している遺跡で説明会を開催します。調査説明資料を刊行し配布します。

### ■出土文化財の保管と活用

出土文化財及び調査記録写真の展示会等への貸出をおこなっています。

### ■広報誌・年報の発行

埋蔵文化財に関する情報、調査研究の成果を紹介しています。



高瀬山遺跡（1期）調査説明会



遺物実測作業

# 声の交差点

## 歴史と生き方

上山市立南小学校

六年三組 加藤真奈

埋蔵文化財センターに行つて、とても勉強になりました。

私達は歴史の勉強で、縄文時代の縄目のもようの土器を見て、「縄目のもようにはどんな意味があるのか」と想像しました。みんな先祖からの言い伝えだと、規則などということばかり想像しました。

でも聞いてみて、びっくり。本当は「まわりの空気を抜くため」だったり、「はやりを伝えるため」なんて、誰も想像しませんでした。縄文時代の人々知恵つてすごいなと感心しました。

特別収蔵室にはたくさんの土器や石器がありました。どれもすばらしい道具なんて無いのに、こんなにすばらしい土器をつくれるなんてすごいと思いました。

でも、つくった人だけでなくその人に少しでも近づこうとがんばって、お仕事をしている人もすばらしいと思います。



上山市立南小学校6学年の  
山形県埋蔵文化財センター  
施設見学 4月24日

最後に佐々木さんが話してくださった「いま、過去から未来が見える」というお話はとても心に残りました。「縄文人の人は明日のことを考えていた。何が必要かを考えていた」この言葉がすごく心に残っています。

私達は自分でできることでも人にやつてもらつたり、古いものは使わなかつたり、わがままになつています。でも、それじゃダメなんだということがよくわかり、改めて考えることができました。

本当に歴史のことだけでなく、生き方も見直すことができ、よい勉強になりました。

継続的に水田が営まれてきたところです。

水田は洪水などで短い時間に埋まってしまわない限り、発見するのが難しいといわれます。この遺跡では、調査員の方々が限られた時間と予算の中でも他の分野の先生の指導を受け、見えにくい水田を調査するために、いろいろと努力されている様子が印象に残りました。

いま山形県は全国でも有数の米どころとなっています。しかしそのように稻作が取り入れられ、水田が営まれていったのか、その歩みについてはまだまだ不明なことが沢山あります。

期間的には短い研修でしたが、この“謎解き”に何かしら役立てば幸いと思っています。

## 編集後記

不思議ですねとよくきかれます。舟形町の西ノ前遺跡から出土した土偶たち、その中でも45センチと日本一のノッポさん土偶。今にいきる私達が見て、そのフォルムのあまりの素晴らしさに目を奪われますねと。

人のこころの根元にある美意識は、縄文人から変わらぬものなのでしょうか。(姉)